

令和5年12月15日
札幌開発建設部

新桂沢ダムは最高水位に到達

～試験湛水の状況について～

試験湛水中の新桂沢ダムでは貯水位が、令和5年12月15日午前6時、洪水時最高水位（洪水時に到達する可能性がある最高の水位＝標高196.80m）に到達しましたので、お知らせします。

この試験湛水は、ダムの本運用前に貯水位を上昇及び降下させて、ダム堤体、貯水池周辺地山等の安全性を確認するために行っているもので、令和5年11月11日から開始し、現在のところ異常は確認されておりません。今後、水位を終了水位（標高187.00m）まで降下させ、試験湛水を完了することとしており、引き続き、安全性の確認を実施してまいります。

下流河川の流量や水位が急激に増加する場合がありますので、ご注意ください。

試験湛水の様子は幾春別川ダム建設事業所のホームページでご覧になれます。

https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/ikushunbetu_damu/e1lg9o00000hmsq.html

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 幾春別川ダム建設事業所

副 長 稲垣 達弘 （電話番号 01267-6-7101）

調査設計班長 橋本 慎一 （電話番号 01267-6-7101）

幾春別川ダム建設事業所 HP https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/ikushunbetu_damu/

参考

洪水時最高水位到達時の貯水状況 令和5年12月15日午前9時撮影

